



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

7年4月18日

島根県知事 殿

提出者

住 所 島根県江津市跡市町3572-9

氏 名 有限会社 富士重機

代表取締役 谷口 康太

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0855-56-3123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 富士重機
事業場の所在地	島根県江津市跡市町3572-9
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	解体工事業
② 事業の規模	
② 従業員数	9人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別表2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（ 6年度）実績】		別表3	
	産業廃棄物の種類			
① 現状	排 出 量		t	t
	① 現状 (これまでに実施した取組) 各現場廃棄物の排出抑制に関して、できる限り廃棄物の発生はしないよう努める。			
② 計画	排 出 量		t	t
	② 計画 【目標】 (今後実施する予定の取組) 上記の内容を実施予定。			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体現場において木くずの分別強化を行っている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体現場において木くずの分別強化を行っている。 再生業者に委託し再資源化を促進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
実施なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

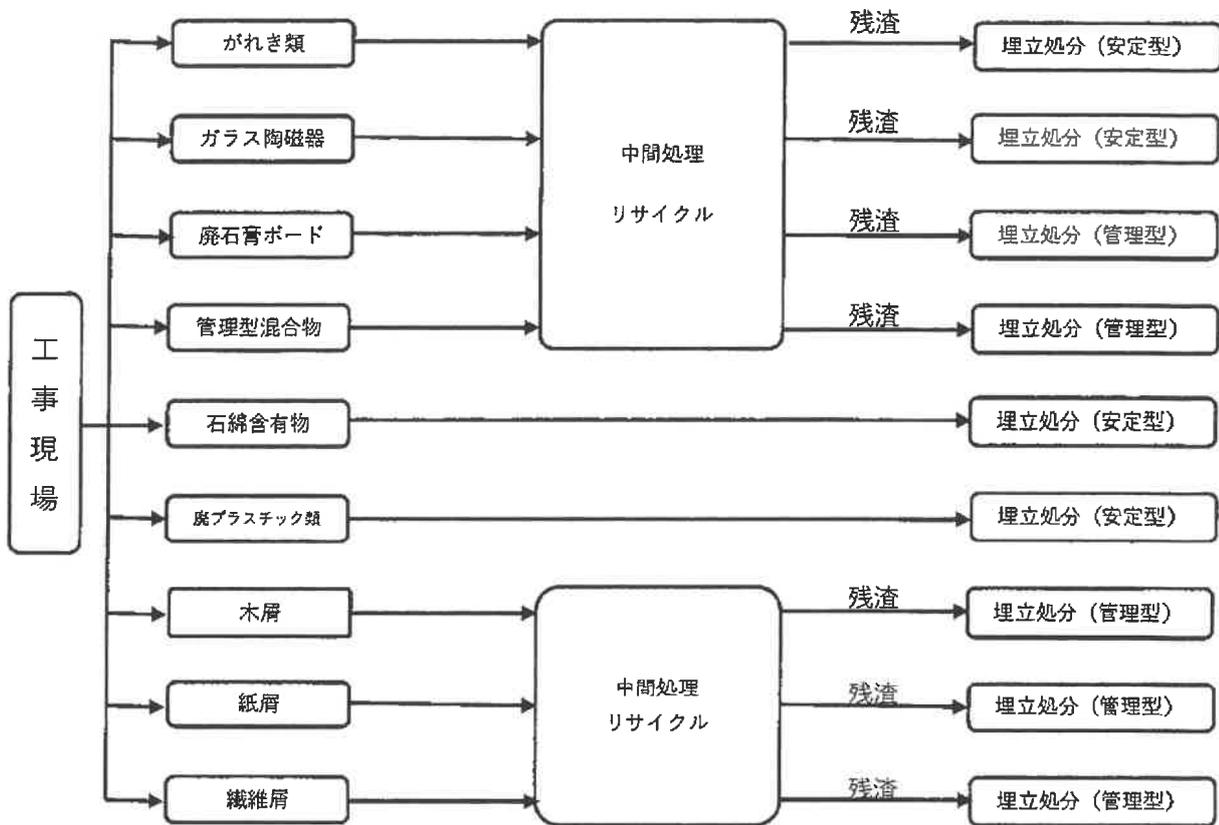
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】 別表4		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。		

② 計画	【目標】別表4	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
再利用率が可能な廃棄物は再生利用業者へ処理委託する。 可能な限り優良認定処理業者から選定する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



責任者及び管理組織図

統括責任者		代表取締役 谷口康太	
廃棄物担当		総務部	
		担当員	
役割	環境管理委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制・中間処理・適正処理の推進、計画的な 廃棄物管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長—代表取締役 ・事務局—総務課	
	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認 ○廃棄物処理計画の作成	
	廃棄物管理担当者	○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者・再生利用業者の調査・選定及び管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員・関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項	
	総務部	○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理	
組織図		<pre> graph TD A[統括責任者 (廃棄物担当役員)] --- B[環境管理委員会] B --- C[総務部 (担当)] </pre>	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別表3 (t単位)

① 現 状									
前年度(6年度)実績									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	がれき等	ガラス陶器	木屑	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有物	管理型混合物	
排出量	42.68	481.3		523.6				3.47	
産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	安定型混合物					合計	
排出量	0.75							1051.8	
② 計 画									
目 標									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	がれき等	ガラス陶器	木屑	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有物	管理型混合物	
排出量	25	550	10	400				2	
産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	安定型混合物					合計	
排出量	0.3							987.3	

